

# こひつじ 2組 クラスだよ！ 10月

クラスで取り組んでいること

クリスマスに向けての取り組みが少しずつ始まっています。子ども達が自分で選んだ役割に一生懸命取り組み、イエス様のお誕生日をお祝いする準備をしています。

今月の聖句

「ひとりよりもふたりが良い。」

コヘレトの言葉 4章9節)

今月の歌

うたえばんばん

くちを大きくあげまして うたってごらんアイアイ  
その歌ぐんぐん広がって だれかの心とこんにちは

アアアいいな うたごえはアイアイ  
世界いっぱい いっぱい いっぱい ララひびきあう

うたうたえ うたうたえ うたえばんばんばんばんばん  
うたうたえ うたうたえ うたえばんばんばんばんばん

今月の賛美歌

君は愛されるため生まれた  
君は愛されるため生まれた 君の生涯は愛でみちている  
君は愛されるため生まれた 君の生涯は愛でみちている

☆永遠の神の愛はわれらの 出会いの中で実を結ぶ  
君の存在が私には どれほど大きな喜びでしょう

君は愛されるため生まれた 今もその愛うけている  
君は愛されるため生まれた 今もその愛うけている

☆くりかえし

## 運動会ごっこ【玉入れ、綱引き、ドーナツ運び】

玉入れ、綱引き、ドーナツ運びなど運動会ごっこをして遊びました。リレーは負けちゃったから今度こそ！とリベンジに燃えるこひつじ2組。綱引きでは、コツを伝授し挑むも全て3位という結果。少しでも結果に表れ、自信になれば...と思っていたところ、なんとフリー参観に来ていただいていた保護者の方から果たし状！2組vs保護者の綱引きが出来ることになりました。大人相手でもより一層力が入り、一生懸命引っ張る子どもたち。久々の勝利に大喜びでした。ドーナツ運びもクラス対抗後に2組だけで追加で4回戦(笑)最後は私vs2組で行い、一緒に楽しみました。“かな先生と誰かがタイヤを取り合っている間に、他のタイヤを運ぶ作戦”を立てていたようで、作戦は大成功でした！



## 運動会ありがとうございました！

10月5日(土)はお忙しい中、運動会にお越しく下さりありがとうございました。心配していた天候も守られ、こひつじ2組28全員揃い迎えられたことが何より嬉しかったです。今まで沢山の話し合いや練習を重ねてきた子どもたち。運動会の取り組み前には“どんな運動会にしたい？”という題でも話し合いました。様々な声がある中で“お家の人も皆も嬉しい・楽しい気持ちになる運動会にしたい！”という意見が多く、その目標に向かってクラス一丸となり進んできました。しかし、「嬉しい気持ちになるために勝ちたい」「勝つために練習したい」「勝ち負けありは負けたら悲しいから、勝ち負けなしがいい」「勝ち負けって...？」と1つの目標にも色々な思いがあることに気が付きました。話を深めていくと①28人皆で頑張りたい②少しでも走るのが速くなりたいという思いが隠れていたことが分かり、子どもたちの目指す方向も明確になっていきました。

運動会の取り組みへの参加の仕方は様々で、周りの子の意見に思いを寄せる子、自分の考えを表現する子、作戦を考える子、自分の姿を振り返り対策を練る子、回数を重ね自信を意欲へと変化させ参加する子、不安な子に寄り添う子など、それぞれの向き合い方があり、どの姿も素敵だなと感じる毎日でした。運動会直前のグラウンド練習では、AチームもBチームも3位が続き、作戦会議も練習もしたのにどうして...挫けてしまいそうに。そんな時も「諦めたら終わりやで」「確かに...じゃあもうちょっと頑張ってみようか〜」と皆で声を掛け合い、最後まで諦めない姿を見せてくれました。

当日。一人ひとりいろんな思いを持ち、この日を迎えたことと思います。バラバルーンもリレーも緊張しながらも自分たちの今出せる全力で頑張っていましたね。一生懸命で、立派な姿に、競技中にも関わらず涙ぐんでしまう担任でした。後日、運動会の感想を聞き「めちゃくちゃ楽しかった！」「3位で悔しかった」「2位になれて嬉しかった」「28人揃って嬉しかった！」「年に2回やりたいくらい！」などなど正直な気持ちを共有。当日の頑張りを受け止めながら、今まで運動会に向けて話し合い、努力してきたことが何よりも大事だということも伝えました。互いの違いを認め合い、寄り添い、話し合うことは簡単ではなかったと思います。しかし友達を傷付けるような言葉は言わないやさしい2組さん。難しいことにも1人ではなく皆で取り組めたからこそ乗り越えられ、得られた力や気持ちが多くあったのではないのでしょうか。保護者の皆様も、この1か月子どもたちの話に耳を傾け、寄り添い、様々な面で温かくサポートして頂き本当にありがとうございました。



## お芋掘り



幼稚園で最後のお芋掘り。スコップやしゃもじを使って一生懸命掘って、収穫しました。大きなお芋から、小さな赤ちゃんお芋など様々な大きさに喜ぶ子、「ちっちゃい」と大きなお芋を想像しており、残念がる子も...。作物を育てる難しさや、用務の方や神様への感謝を感じる1日でした。

## お芋パーティー



降園前『おおきなおおきなおいも』の絵本から「お芋パーティーしたい！」と声があり、シルフでもお伝えした流れに。お家の人との約束を覚え、お家で食べることを楽しみにしていた子、クラスの皆で食べたいと思った子など色々な姿がありました。1人ひとりの素直で、素敵な思いを大切にしながら、「皆でパーティーをするために持っていきたくらいと思ったら、お家の人にお話して持ってくることにしようか！」と話をしました。すると、次の日から続々と「持ってきたよ！」とどこか誇らしげな表情で登園する子どもたち(笑)皆のために持ってきてくれた子の姿をお祈りの中に加え、皆で感謝をしていると、「持ってこない」と宣言していた子も、自分も...という気持ちが芽生えたのか、翌日に持ってきてくれたり。計20本近くのお芋が集まり、パーティーを開催出来ることになりました。そして、メニュー、スケジュールを計画しクッキング当日。サツマイモを慎重に切ったり、調味料を量ったり...子どもたちは重くなると数字が変わっていくことが面白かったようで、量りに釘付けになり計量していました。いい香りがお部屋に漂い、どんどん気持ちが高まるようす...。鬼まんじゅうの蒸す工程はお台所さんをお願いし、完成！「おいしい！」と子どもたちも大満足で、笑顔が溢れていました♡自分たちでやりたいことの実現に向けて主体的に行動することやその喜びを感じてくれていれば嬉しく思います。また、今回子どもたちの力に加え、保護者の方、お台所の方、保育者など見えないところで支えてくれている人の存在にも気づいてくれていた子がいたことも、今回の取り組みの1つの意義となった気がします。

## カプラ



積み上げたり、並べたりが好きな子どもたち。丸い形に積み上げていくと、タワーのように！色んな子が興味を持ち、入れ替わりながら協力。手の届かないところは椅子に立ち慎重に積み上げていました...！すると途中、1人のお友だちがバランスを崩し転倒、カプラに激突。幸い怪我はなかったのですが、驚きとショックとで涙が溢れてしまいました。「ちょうど穴が開いて中に入れるようになったよ！」と声を掛けると、周囲の子も「確かに！○○ちゃんのおかげやなあ」「もう泣かなくて大丈夫だよ！」と温かく思いやりをもって関わる姿にほっこり。お友だちのおかげで切り替えられ、最後には「○○ちゃんのおかげで入れるようになってんで！」と自ら誇らしげに話す姿が可愛かったです(笑)無事完成すると、携わっていた子よりも、周囲で見ていた子が「入りたーい！」と興味深々で集合。作っていた子も嫌な顔1つせず「3人ずつなあ！」「順番に！」と周りの子が喜びことに喜びを感じているようでした。大人の思考では「頑張って作った子が最初に入ったほうが...」と申し訳ないがちですが、そうではなく皆で“分かち合う”ことの素晴らしさを子どもたちに教えてもらいました。

## みかん狩り

